

研究発表会開催通知

(昭和59年3月15日～4月30日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
日 本 文 入 力 方 式	3月15日(木)	13:30~17:00	機械振興会館	前号参照
自 然 言 語 処 理	3月16日(金)	13:00~17:00	東 大	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論	3月16日(金)	10:00~16:30	日 本 I B M	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	3月16日(金)	9:00~17:00	機械振興会館	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	3月23日(金)	13:30~17:00	同 上	同 上
マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ	4月24日(火)	14:00~17:00	同 上	下記参照

◆ 第30回 マイクロコンピュータ研究会 (発表件数: 2件)

(主査: 安田寿明, 幹事: 斉藤 剛, 脇 英世, 若鳥陸夫)

日 時 昭和59年4月24日(火) 午後2時～5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 等々力—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

議 題 (1) キャラクタディスプレイ端末の高機能化

若林真一, 菊野 亨, 吉田典可, 高山雅行 (広大・工)

[概要] キャラクタディスプレイを用いて, ウィンドウ, 上下左右のスクロールなどの機能をもつ端末を開発した。

(2) ストレージ型グラフィックディスプレイを TSS 端末として利用するためのインタフェースの開発

若林真一, 菊野 亨, 吉田典可, 堀川英弥 (広大・工)

[概要] ストレージ型グラフィックディスプレイを TSS 端末として効率よく利用するための画面管理装置を開発した。

◆ 記号処理研究会

第3回 LISP コンテストの実施について

研究会では, 6年振りに LISP コンテストを実施する予定です。前回の課題の中には, その後 LISP の世界的なベンチマークとして使われるようになったものもあります。現在, これらの実績を踏まえて課題の見直しを進めています。課題の選定についてご意見をお待ちの方は下記連絡先までお送り下さい。なお今回より **PROLOG** の部を新設する方向で検討しています。

予定 (暫定) 課題の決定 59年6月 (研究連絡会で決定します)

参加締切 59年12月 集計発表 60年3月

連絡先 〒180 東京都武蔵野市緑町 3-9-11 武蔵野通研・情報基礎2研
奥乃 博 Tel. 0422 (59) 3323

* 前回 (第2回) のコンテスト結果については, 本学会誌 1979年3月号 pp. 192-199 に報告してあります。

〈お詫び〉 ◆ グラフィクスと CAD 研究会

Vol. 25 No. 2 研究発表会開催通知で掲載いたしました, 第12回研究会での,

議題(8) IGES 概論 中塚久世 (マイクロ・シー・エー・デー)

の発表者の氏名・所属がぬけておりましたので訂正いたします。

◆ 研究会開催予定 (5月～9月)

自然言語処理	5月 下旬	KDD
	7月 下旬	東京
データベース・システム	6月 5日(火)	機械振興会館
	7月 24日(火)	同上
	9月 25日(火)	同上
知識工学と人工知能	5月 8日(火)	同上
	7月 12日(木)	東北大
	9月 19日(水)	電総研
記号処理	6月 15日(金)	商業界会館
	9月 7日(金)	北大
ソフトウェア工学	5月 30日(水)	機械振興会館
	6月 27日(水)	同上
	7月 25日(水)	同上
	9月 26日(水)	東京
マイクロコンピュータ	6月 19日(火)	商業界会館
	8月 31日(金)	大阪
	9月 28日(金)	東京
計算機アーキテクチャ	5月 25日(金)	広大
	7月 13日(金)	商業界会館
	9月 21日(金)	東京
オペレーティング・システム	6月 8日(金)	機械振興会館
	9月 14日(金)	同上
コンピュータビジョン	5月 24日(木)	名大
	7月 19日(木)	東大
	9月 20日(木)	広大
設計自動化	5月 22日(火)	商業界会館
	9月 18日(火)	東京
日本文入力方式	5月 9日(水)	機械振興会館
	7月 11日(水)	同上
グラフィクスとCAD	6月 中旬	東京
	9月 上旬	同上
数値解析	6月 29日(金)	機械振興会館
	9月 29日(土)	京大
ソフトウェア基礎論	6月 22日(金)	東工大
	9月 28日(金)	京大
情報システム	6月 19日(火)	機械振興会館
	9月 18日(火)	同上

新年度にあたって（お願い）

——会費・購読費の納入，新会員勧誘など——

新年度にあたって，会員の皆様につきの点につきご確認いただき，あわせてご協力のほどお願いいたします。

（１） 59年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

1月下旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしました。未納の方は3月末までにご納入ください。

なお，本年3月に大学学部卒業予定の学生会員には，59年度会費は正会員（7,200円）として請求してあります。大学院修士課程に進まれる方は，学生会員として継続できますので，1月末にお届けした納付依頼書の記事を参照のうえ，会員番号を付し，大学院名・研究科名・専攻名，修了予定年月および会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

（２） 滞納会費の納入

58年度会費未納者には，これまで再三にわたり請求いたしておりますが，このたびの請求によっても納付いただけない場合には，本学会から除名することがありますので，ご承知ください。

（３） 会誌の送本先変更

勤務先，自宅住所に異動のある方は，必ずはがきにて会員番号を付し，早速にご連絡ください。

（４） 退 会

書面（様式任意，はがき可）にてお申出ください。なお，58年度会費が未納の場合には，昨年4月以降送本した会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

（５） 論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（隔月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は前号本欄添付の申込書を使用して，お申し込みください。

（６） 新入会員の勧誘

3月，4月は新入会のチャンスです。入会申込書を本号末尾に綴込みましたので，入会をご勧誘ください。

情報処理学会第29回全国大会論文募集要領

- 開催期日** 昭和59年9月11日(火)～13日(木)
- 会場** 東北工業大学(仙台市八木山香澄町 35-1)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 59年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込を受け付けません。入会申込書は本号末尾に添付してあります。
- 申込料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず講演参加費(1件につき7,000円)を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの, 切手は不要)を同封のうえ, 59年5月7日(月)までに(必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として1人1件とします。ただし, やむを得ず2件以上になる場合には, 講演参加費は1件ますごとに7,000円ずつを申しあげます。申込締切後の変更は一切受け付けません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を6月上旬に送付しますので, 昭和59年7月20日(金)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しません。なお, 大会が1カ月繰上り, 発表申込および論文提出とも, 締切日が従来よりそれぞれ1カ月ほど繰り上りましたのでご注意ください。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3号室
(社)情報処理学会 第29回全国大会係 電話 03(431)2808

~~~~~論文該当分野~~~~~

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. 専用マシン, b. 並列処理, c. 演算装置, d. 記憶装置, e. 周辺端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロプログラミング, j. スーパーコンピュータ, k. その他
3. オペレーティングシステム
4. プログラミング言語およびソフトウェア工学
 - a. プログラミング言語とその処理
 - b. プログラミング技法, c. 開発管理保守
 - d. プログラミングツール, e. 性能評価
 - f. 信頼性, g. その他
5. データベース
 - a. データベースマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース, d. 性能評価, e. 情報検索, f. その他
6. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
7. パターン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学
 - f. ロボット, g. その他
8. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. テキスト処理・辞書
 - c. 入出力, d. その他
9. 数値計算
10. マイクロコンピュータ
11. オフィスシステム
12. 技術, 産業への応用
 - a. CAD/CAM, b. CAE, c. グラフィックス, d. シミュレーション, e. その他
13. 社会システムへの応用
14. その他

講演 番号	
----------	--

情報処理学会第29回全国大会
講演申込用紙

掲載 ページ	
-----------	--

題 目(注1)					
ふりがな 氏名(勤務先) (注1)	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演者の氏名には左上に○をつけて下さい。				
講演者 会員番号 (入会 手続中の方は 入会申込 月日を記入)	氏名には必ずふりがなをつけて下さい。				
原稿用紙送付先	(所在地) 干				
	(氏名)		Tel.		
論文該当分野(注2)	(1)	(2)	(3)	*1 (注3)	*2 (注3)
(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。					
(注2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入下さい。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“データベース分野、性能評価”の場合、5dと書く)					
(注3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の*1 または*2 に記入して下さい。					
— 論 文 要 旨 (300字程度) —					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					
.....					

受付 番号	
----------	--

情報システム研究会発足のお知らせ

技術一般がそうであるように、情報処理技術も、それが社会・経済そしてよりよき人間の生活のために如何にあらねばならぬかを考えることは、広く情報システム関係者の真剣に取り組むべき課題でありましょう。

ことに、情報処理技術は他の諸技術に比較しても急速に進歩しつつあり、情報システムの社会における普及・浸透にはめざましいものがあります。この際、情報そのもの、および人間を中心とした情報システムのあり方と構築法について、これまでの実際面での経験および新しい計算機システム技術（ハードウェア、ソフトウェア）・通信技術の進歩をふまえて、広く高い見地から現実に即した研究を行うことが必要です。

ここで情報システムとは、一般組織体での日常業務処理・意志決定あるいは情報サービスのために用いられるシステム、たとえばオフィス・インフォメーション・システム、経営情報システム、意志決定支援システム、予約・問合わせシステム、各種のデータベースサービスシステム等（ビデオテックス・テレテキスト等のいわゆるニューメディア、各種企業・機関内部あるいはこれら相互間の情報ネットワーク等を含む）を意味します。本研究会では、これを人間・組織を含む、情報の生産・流通・利用にかかわる一連の過程ととらえて研究をすすめてまいります。システム設計・開発・管理にたずさわる方々、情報システムの利用者、社会諸科学分野の研究者などの広いご参加を期待します。

◆ 目 標

1. 一般に、組織が情報システムを設計・構築・導入・維持・利用するにあたっての問題点を把握し、これらの問題を解決するために必要な概念および理論を形成し、それによって上の各段階についての方法論の確立をめざす。
2. 情報システムと個人、組織および社会との相互の影響の問題点を把握し、その対策を研究する。

◆ 主要な研究分野

1. 組織内部での情報に対する必要性の解析と明確化
2. 組織のための情報システムの解析および全体設計
3. 組織内部での情報およびデータの管理
4. 組織内部、および社会における情報システムの有効な利用法
5. 情報システムおよびその基礎となる情報技術と、個人・組織体・社会との関係
6. 個人・組織および社会の生活を向上させる情報システムの構築法

提案者（順不同）

浦 昭二（慶大）	有山正孝（電通大）	伊吹公夫（電電公社）	高木幹雄（東大）
槻木公一（国鉄）	中井 浩（JICST）	根岸正光（東大）	益田隆司（筑波大）
三浦大亮（東レエンジニアリング）		三輪真木子（エポックリサーチ）	
柳原一夫（慶大）	山本毅雄（関情大）	若尾暢宏（市況情報センター）	

昭和 59 年度研究会のお知らせ

昭和 59 年度は、下記の通り 16 研究会 (新設 1) で行います。(※ の情報システムが新設されました.)

- 年間を通して参加の場合は登録をお願いします。(但し本学会員に限る.)
- 登録されていない会員は研究会当日資料代 ¥1,000 をいただきます。(但し、部数に制限があります.)

研究会名	主査幹事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	○吉田 将 榊 博史 野村浩郷 日高 達	言語理論, 言語行動, 言語利用, 言語資料・統計, 漢字処理, 専門用語・辞書, 構文解析, 意味・文脈処理, 知識処理, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベース・システム	○酒井博敬 齊澤 博 三浦孝夫 吉田郁三	基礎理論, アーキテクチャ (分散 DB, DB マシン, 汎 DBMS), データ・モデル, DB 設計, DB 言語, 応用 (OA, 設計, 診断, 研究開発など)
3 知識工学と人工知能	○志村正道 石塚 満	知識の表現と獲得, 知識ベース, エクスパートシステム, 推論と学習, 定理証明, 発見的手法, 自動プログラム合成, 知能ロボット, パターン理解, 人工知能用語
4 記号処理	○間野浩太郎 稲田信幸 奥乃 博 寺島元章	記号処理言語とシステム, 記号処理の理論と応用 (数式処理, 言語処理, ゲーム, 知識ベース, 論理プログラミング, ラムダ計算, 関数型言語), 記号処理アーキテクチャ, 記号処理の技法
5 ソフトウェア工学	○木村 泉 久保未沙 花田収悦	生産手法・工具・環境, 管理と計量, 利用者界面, 要員の教育・訓練と人間工学, 生産事例
6 マイクロコンピュータ	○安田寿明 斉藤 剛 若島陸夫 脇 英世	システムアーキテクチャ, プログラム言語, OS 体系, 応用新分野, ネットワーク, 普及動向および普及促進
7 計算機アーキテクチャ	○飯塚 肇 大島一純 坂村 健	計算機システムの設計・構成・制御技術, ファームウェア技術, VLSI 向きアーキテクチャ, 応用指向・問題向きアーキテクチャ, 各種並列アーキテクチャ
8 オペレーティング・システム	○益田隆司 紀 一誠 関野 陽 吉澤康文	オペレーティング・システム (大型/小型) の構造論, 設計思想, 記述方式, 実現, 人間工学的評価, 計算機システムの性能解析, モデル化技法, 信頼性
9 コンピュータビジョン	○辻 三郎 木戸出正継 杉原厚吉	画像処理一般 (強調・復元, 認識・理解, アルゴリズム, 専用プロセッサ, 言語), ロボットビジョン, 物体認識, 視覚系のモデル, 動画像解析, 画像データベース
10 設計自動化	○村井真一 上原貴夫 向殿政夫	LSI/VLSI・プリント板・論理装置等の論理設計・実装設計・検査設計の自動化, ハードウェア記述言語, 階層化設計手法, 知識ベース CAD, EWS
11 分散処理システム	○野口正一 白鳥則郎 河岡 司	広域分散, ローカル・ネットワーク, 機能分散, 負荷分散等の分散処理システムの設計と運用技術, 計算機網技術とその応用に関する理論と実際
12 日本文入力方式	○山田尚勇 坂下善彦 首藤正道	文章の分野別特徴, 人間工学的基礎, 各種入力法の研究と比較, オペレータ教育法, 文書処理方式と制御言語, オフィス・オートメーションとのかわり
13 グラフィクスと CAD	○田嶋太郎 井越昌紀 木村文彦 松家英雄	グラフィックス言語および標準化, ディスプレイ技術, グラフィックス・データベース, マン・マシン・インタラクション, アニメーション, CAD/CAM への応用
14 数値解析	○一松 信亮 名取 亮 浜田穂積	数値計算とその解析, 特に超大型計算や超高精度計算, 数式処理との結合, 数学的ソフトウェアの移植, 計算機や言語への提案, 計算の能率化手法
15 ソフトウェア基礎論	○淵 一博 雨宮真人 二村良彦	言語設計, 形式的仕様, プログラム意味論・検証論, プログラムの変換合成, プログラミング方法論, 関数型・論理型プログラミング, 並列処理, データ意味論
16 ※ 情報システム	○浦 昭二 山本毅雄 柳原一夫 若尾暢宏	情報システム (OIS, MIS, 情報サービスなど) の分析・設計・構築・利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理等の理論と実際, 情報システムと人間・組織・社会

59 年度研究会（新規）登録申込書

登録上の注意

- 1) 本申込書は新規の方のみご利用ください。(58 年度に登録された方は使用できません。)
- 2) 58 年度にいずれかの研究会に登録された方には、別途各登録者宛に「昭和 59 年度研究会の登録について (お願い)」を送付いたします (3 月上旬)。
- 3) 登録は本学会員に限ります。各研究会登録費は年間下表のとおりです。登録者には、研究会に欠席の場合資料を後日郵送します。
- 4) 登録は、登録費の領収をもって正式の受け付けとします。おそくとも 5 月末日までにご登録下さい。6 月以降になると既刊の資料は確保しかねますので、ご承知おき下さい。

(ご希望の研究会の申込み欄に○印をつけること)

申込み	研究会名	登録費	申込み	研究会名	登録費
	自然言語処理	3,000円		コンピュータビジョン	3,500円
	データベース・システム	3,000円		設計自動化	3,000円
	知識工学と人工知能	2,500円		分散処理システム	3,000円
	記号処理	2,500円		日本文入力方式	3,000円
	ソフトウェア工学	3,000円		グラフィクスと CAD	2,500円
	マイクロコンピュータ	2,500円		数値解析	2,500円
	計算機アーキテクチャ	2,500円		ソフトウェア基礎論	2,500円
	オペレーティング・システム	2,500円		情報システム	2,500円

(フリガナ)

○ 申込み会員氏名 _____ [正・学・賛] 会員 No. _____
 ○ 勤務先名・所属 _____ Tel. _____
 所在地 (〒 _____)

○ 資料送付先 (上記勤務先以外の場合のみ記入)。

(〒 _____)

○ 登録費 (年間)
$$\left. \begin{array}{l} 2,500円 \times \text{_____ 件} \\ 3,000円 \times \text{_____ 件} \\ 3,500円 \times \text{_____ 件} \end{array} \right\} = \text{_____ 円也}$$

○ 次のいずれかの方法でご送金下さい。いずれの場合も必ず登録申込書が必要です。なお、会社名などで送金の場合は、別途個人名を事務局までお知らせ下さい。

現金書留：登録費と登録申込書を同封のこと。 現金持参

郵便払込：払込用紙に希望研究会名を記入のこと。

口座番号「東京 5-83484」

銀行振込：第一勧銀虎ノ門支店 普通口座 No. 1013945

○ 払込み日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

○ 備考 情報処理学会の請求書 (通), 見積書 (通), 納品書 (通) が必要です。

(社)情報処理学会 研究会係 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 Tel. 03(431)2808

「プログラム設計技法の実用化と発展」シンポジウム

開催のお知らせ

プログラム設計の方法論はすでに種々開発され、なかには広く普及しているものもありますが、決定版と言えるものはあまり見あたりません。

そこで、広く情報を交換し問題点を論議する場として、ソフトウェア工学研究会（主査 木村 泉）では、下記要領でシンポジウムを開催致します。締切りが間近に迫りましたので、早めにお申込みください。

日 時 昭和 59 年 4 月 10 日(火)、11 日(水)、12 日(木) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール（地下 2 階）

参加費 会員 12,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 6,000 円
（テキストのみ 3,000 円、送料 300 円）

申込締切 昭和 59 年 3 月 23 日(金)（申込書およびプログラムは前月号にあります）。

会員名簿（昭和 58 年度）の予約について

前号本欄でお知らせしたとおり、4 年振りの会員名簿（B 5 判、約 500 ページ）を会員特価にて予約を受付けております。未だ申込んでいない方は締切日を延長しましたので、3 月中にお申込みください。なお、予約は会員のみとします。

記

価 格 会員予約特価 2,600 円（会員定価 4,000 円）（送料込）。

申込締切 昭和 59 年 3 月 31 日(土)

申込方法 1 月号本欄末尾に綴込みの郵便振替用紙にて、ご送金ください。

国際会議 Proceedings の頒布について

ICTP '83 (1983 Int'l. Conf. on Text Processing with a Large Character Set, 1983年10月17日～19日, 於経団連会館)

○本会議 Proceedings (448 p. A4変形判)
会員特価 10,000円 (定価 12,000円), 郵送料 800円

6th ICSE (6th Int'l. Conf. on Software Engineering, 1982年9月13日～16日, 於学習院大学)

○本会議 Proceedings (469 p. A4判)
会員特価 7,300円 (定価 9,000円), 郵送料 500円

○Panel Sessions Proceedings (79 p. A4判)
会員特価 1,000円 (定価 1,200円), 郵送料 400円

○Poster Session Proceedings (119 p. A4判)
会員特価 1,800円 (定価 2,200円), 郵送料 400円

○第6回 ICSE 講習会テキスト (231 p. B5判)
会員特価 2,200円 (定価 3,000円), 郵送料 400円

申込方法

B5判用紙に所要事項をご記入のうえ, なるべく現金書留にてご送金ください.

本会協賛の行事案内

(開催期日・場所)

(主催・問合せ先)

第5回 数理計画シンポジウム

昭和59年10月11日(木)
～12日(金)
都久志会館 (福岡)

数理計画シンポジウム委員会
九大・理・数学教室 川崎英文
Tel. 092 (641) 1101 (内 4371)

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判
- (2) 純学研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。
 - (i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
 - (ii) Short Note (2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い, 1行65ストローク, ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し, パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で, 欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
 - (i) Paper のアブストラクト——200語以内
 - (ii) Short Note のアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は, 完成図(そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」
〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000